

第51回 ほろのベトナカイマラソン大会開催要項

1 目 的 町民皆スポーツの一環とし、マラソンを通してスポーツの動機づけや浸透を深めるとともに、学校教育、社会教育、地域教育、家庭教育の連帯感を深め、より活性的な町づくりの一環として行い、自らの健康維持増進を図る。

2 日 程 令和8年9月12日（土）

【開催判断について】

- ① 朝7時総合体育館集合、竹岡委員長
対応者：体育館…田村次長補佐、丹主任
- ② 中止の判断を出した場合は、告知端末機でお知らせする。
※ 町外在住者には丹主任が直接連絡する。

3 主 催 幌延町教育委員会

4 場 所 幌延町総合スポーツ公園野球場駐車場前集合
(スポーツ公園～上幌延方面折返し)

5 種 目

種 目	距 離	対 象 学 年
男 子	2 km	小学2年生まで
女 子	2 km	小学2年生まで
男 子	3 km	小学4年生まで
女 子	3 km	小学4年生まで
男 子	4 km	小学6年生まで
女 子	4 km	小学6年生まで
中学生男子	5 km	中学1年生から3年生
中学生女子	4 km	中学1年生から3年生
一 般 男 性	3 km、4 km、5 km	
一 般 女 性	3 km、4 km、5 km	
ペアマラソン	1 km	2人1組（親子）

6 開・閉会式

- ① 開 会 式（司会：田村次長補佐）
- ② 大会副長挨拶（古草次長）
- ③ 審判長注意（竹岡委員長）
- ※ 開会式終了後準備体操（ ）
- ① 開 会 式（司会：田村次長補佐）
- ② 結果発表（1位のみ）

7 内 容

- (1) すべて競技タイムのみ1部門とする。
- (2) ペアマラソンは2人同時にゴールすること。
- (3) 一般の部とペアマラソンは、オープン競技として実施する。

8 順位の決定

- (1) 競技タイム：各部門タイムの速い者を上位とする。
- (2) 実際の学年よりも対象学年が下の種目に参加する場合は、審査対象外とする。逆に実際の学年よりも対象学年が上の種目に参加する場合は、審査対象とする。

9 日 程

8 : 0 0	関係者集合・準備
8 : 3 0 ~ 9 : 1 5	受付
9 : 2 0	係間打合せ
9 : 3 0	開会式
9 : 4 0	競技開始
1 1 : 2 0	閉会式

1 0 係分担

係 名	内 容	配置数
全 体 進 行	全体の把握・進行	1
出 発 係	スタート合図（スポーツ推進委員長）	1
選 手 係	次学年スタート位置に集合	2
計 時 係	ストップウォッチ（3計）	3
記 録 係	順位記録（ゼッケン）	1
審 判 係	順位決定（ゼッケンコール） チェック	2
集 計 係	最終順位確認（1位まで）	1
コ ー ス 係	関門員	3
救 護 係	応急処置・児童の健康観察	2
交 通 係	交通整理	5
写 真 係	記録写真撮影	1
後 走 係	各種目後走	1
受 付	一般受付、ゼッケン配布、検温	2
フ リ ー 係	他係に属さないこと	1
合 計		2 6

◎ 詳しい内容等については、別紙資料参照

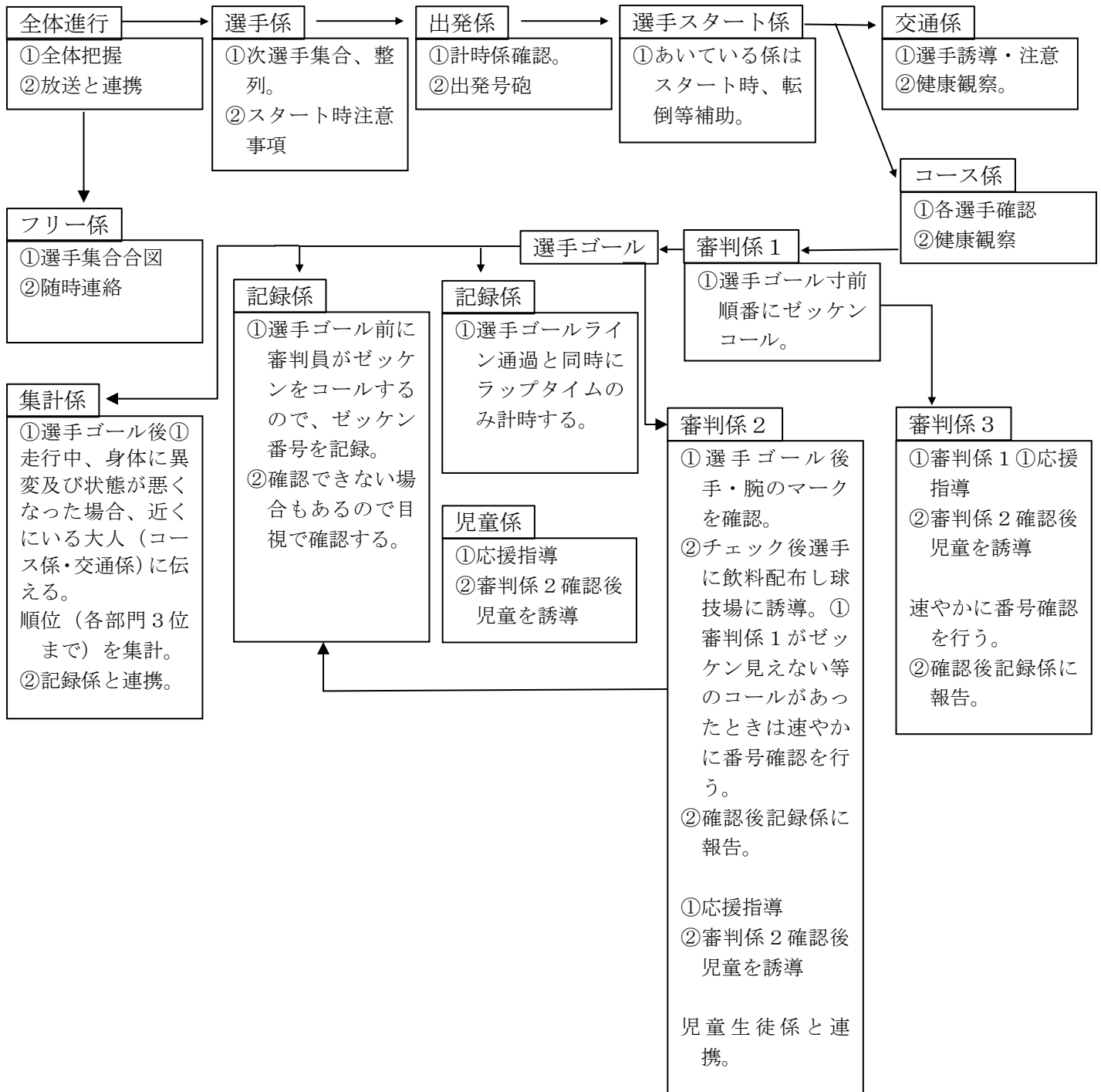
※ 交通係及びコース係は時間の関係上、開会式が始まる前に場所に移動する。なお、場所については事前に確認し番号を歩道に明記しておく。移動手段については各自で行ってもらう。

※ スタッフの人数によっては、兼務にて係分担を行う係もある。（受付係等）

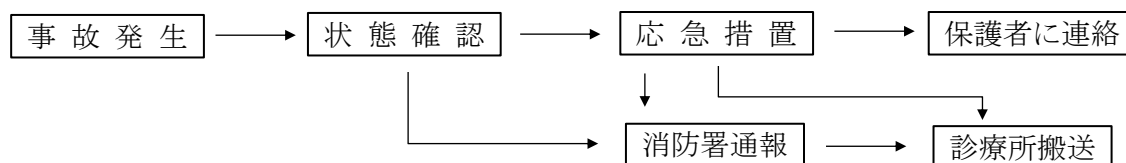
※ 出発係（号砲）は、1回目と2回目を予定する。

※ その後のスタートはホイッスルで対応する。

【競技開始フローチャート】



1 2 緊急連絡体制



- ① 走行中、身体に異変及び状態が悪くなった場合、近くにいる大人（コース係・交通係）に伝える。
- ② 選手から連絡を受けた係員は、早急に状態確認を行い、本部に連絡を入れる。連絡方法は携帯電話で行うこととする。連絡後、選手と係員はその場で待機する。
- ③ 係員から事故発生の連絡があった場合、フリー係が速やかに現場にいき選手を收容し、救護係に引き継ぎ状態を確認する。また、全体進行係より救護係に連絡を入れ、救護係は応急処置等の準備をする。応急処置を行う場所は、野球場本部棟とする。選手を搬送できない場合は、全体進行係に連絡を入れる。
- ④ 状態によって、救護係にて応急処置を行う。応急処置のみで対応の場合は、処置後、全体進行係又は学校関係責任者より保護者に連絡を入れる。
- ⑤ 応急処置後、診療所に搬送する場合、全体進行係は速やかに診療所に連絡（状態を充分把握し連絡すること。）し、教育委員会公用車で搬送する。診療所搬送時は全体進行係又は学校関係責任者より保護者に連絡を入れる。
- ⑥ 応急処置を行って、係員のみで搬送できない場合、全体進行係は速やかに消防署に連絡（状態を充分把握し連絡すること。）し、救急車を要請し診療所に搬送する。消防署に連絡と同時に全体進行係又は学校関係責任者より保護者に連絡を入れる。
- ⑦ 状態確認時に明らかに、状態が悪い場合、全体進行係は早急に消防署に連絡（状態を充分把握し連絡すること。）し、救急車を要請し診療所に搬送する。消防署に連絡と同時に全体進行係より保護者に連絡を入れる。
- ⑧ 状態が悪い場合でも、応急処置ができる場合は、救急車が到着するまで全力で処置を行い、救急隊員に引き継ぐ。引き継ぐ場合は状態を詳細に説明すること。
- ⑨ 診療所搬送時は、経過観察のため数名付き添いを行う。（状態によって解散する。）
- ※ 救護係等、フリー係等
- ⑩ 診療所に搬送した場合、全体進行係は教育委員会（教育長、教育次長）に事故報告をすること。
- ⑪ 事故後の競技実施についての検討は、事業責任者等において判断を行う。
（教委：古草次長・田村次長補佐、）

マラソン中の事故で最も危険であるのが、急性心筋梗塞である。他マラソン大会中にも死亡した事故例があげられている。

（急性心筋梗塞の危険因子）

- ① 睡眠不足、疲れ ② 心臓疾患の疑い ③ 無理をして走った。
- 以上のことが危険因子と考えられます。特に、この３点については、事前指導等においても充分考慮していただきたい。

（応急手当）

- I 患者に声をかけながら肩をたたく。
- II 回りにいる人に協力を得る。
- III 呼吸をしやすくする。（頭を下げる）
- IV 呼吸の有無を確認する。（１０秒程度）
- V 人工呼吸を行う。
- VI 循環サインの確認。
- VII 心臓マッサージを行う。

【その他想定される事故】

- ① 人との接触による事故や転倒
- ② 走行中、何らかの原因による足首の捻挫や痙攣
- ③ 緊張感やストレス等により、走行中やゴール後、過喚起症候群（過呼吸）の急性発作
- ④ 蜂等に刺される。

1 3 会場図等 別紙参照（2枚）

1 4 雨天時の待機場所について

- （1）雨天時や低温時については全体進行係より、待機場所の指示を行う。
- （2）待機場所については、基本的には自家用車とする。
- （3）自家用車以外の待機場所としては、テント奥側倉庫・野球場本部棟とする。

1 5 表 彰

- （1）各部門1位には賞状・副賞を贈呈、3位までの入賞者には賞状を贈呈する。（一般の部はオープン競技のため表彰の対象とはしない。）
- （2）幼児の部については、参加賞として幼児にお菓子を贈呈する。
- （3）表彰式については行わず後日賞状を贈呈する。

1 6 対 象 居住地を問わずどなたでも

1 7 申し込み 8月28日（金）までに、教育委員会、総合体育館及び生涯学習センターに申し込み。

1 8 周知方法

- （1）各施設にポスター掲示（申込用紙を含む）

【幌延】

総合体育館、生涯学習センター、幌延小学校、幌延中学校、子ども園、Qマート、Aコープ、セイコーマート、ダーシェニカ、他

【問寒別】

生涯学習センター、問寒別小中学校、Qマート、保育所

- （2）告知端末で全町周知
- （3）幌小・幌中・問中・子ども園にチラシ配布
- （4）ホームページに事業開催のお知らせをする。

※ 要項及びポスター等を掲載しておく。

1 9 当日の打合せについて

開会式の前に全体で打合せを行う。参加者の対応は、丹主任、黒金職員が担当。

- （1）各担当係で、主で活動する人の紹介及び確認。全体打合せ終了後、担当係間で打合せ。
- （2）緊急連絡体制の説明。
- （3）その他不明な点があった場合協議。

2 0 その他

- （1）参加のゼッケンは当日受付にて配布する。
- （2）折り返し地点にはkm看板及びカラーコーンを設置する。また、車道を使用するので道路用にコーンを設置する。（折返し2km…赤、3km…白、4km…青、5km…緑）
- （3）当日参加者には飲料（ペットボトル）を配布する。
- （4）当日、天候等の状況によっては、走り終わった選手については、先に帰宅するなど臨機応変に対応していく。
- （5）ブルピーポイント対象事業のため、2ブルピーポイントを付与（一般参加者のみ）
- （6）不足用具等の借用（AED、担架、ストップウォッチ）※幌中